令和２年２月定例会
宇土市教育委員会会議録

宇土市教育委員会

１．日　　時　　令和２年２月１０日（月）午前９時３０分開議

２．場　　所　　宇土市教育委員会２階会議室

３．出席委員　　太田　耕幸教育長　近藤　修教育長代理　　園田　寛子委員
　　芥川　学委員　　白井　正晴委員

４．欠席委員　　なし

５．職務のために出席した者
　　教育部長　　宮田　裕三　　学校教育課長　田尻　清孝
　　指導主事　太田黒　保宏　　学校教育課課長補佐 岩﨑　広美
　　生涯活動推進課長　湯野　淳也　　文化課長　野田　恵美
　　図書館長　舟田　武弘　　給食センター所長　藤本　勲
　　中央公民館長　久多見　さとみ

◇◇◇

◇◇◇

のはいかがかと思う。

湯野課長　花園小学校の２人の推薦理由の１部が逆ではないか。

田尻課長　学校に確認する。

≪採決≫（原案のとおり）

◇◇◇

校の立場からという観点で，決定する意味ではこのままでいいと思う。保健師等はデータの提供は必要であると思うが，決定はこの構成でいいと思う。懸念されることは，以前，支援委員会の決定後，保護者から訴えられたケースがあった。最終的には，保護者の同意が必要である。支援委員会のメンバーはこの構成でいいと思うが,このメンバーは子どものことをずっと見ていないため，その場で決定することは難しいと思う。

近藤委員　　７人以内であると，現在６人であるため，あと１人の枠のみである。空きは多い方が何かあったときにいいのではないか。

白井委員　　条例であるため，１０人に変更する場合は根拠を示さないといけない。

田尻課長　　今回，この７人の構成で行う。都合が悪い場合は，条例を改正する。

近藤委員　　多数決であれば，６人は偶数であるため，難しいのではないか。

田尻課長　　委員長は多数決に入らないため，５人での決定になる。

≪採決≫（原案のとおり）

◇◇◇

≪採決≫（原案のとおり）

◇◇◇

長から説明願います。

生涯活動推進課長　　（提案理由説明）

近藤委員　　議案第７号では，報酬，費用弁償について，会計年度任用職員に関する規則に定めるところとなっている。議案第８号では，条例の定めるところとなっている。違いは何か。

田尻課長　　規則では，額を定めてあり，条例では報酬等の支給について掲載されている。条例を除いて議案第７号では，支給額が掲載されている規則のみを載せることにした。

≪採決≫（原案のとおり）

◇◇◇

来なかったのか。英検について申請者が少ないとあるが，学校の先生方に周知をお願いしたい。その他，住吉中学校の給水タンクについて，入札不調ということで，来年度に工事を繰越することであるが，修繕等の応急措置は必要ないのか。

岩﨑課長補佐　幼稚園については，２人の非常勤職員が産休に入り，見つからなかったため，人材派遣での計上をした。その後１人非常勤職員が確保し，今年度クラス数が減少したこともあり，１人減の状態でも可能であることがわかり,今年度の人材派遣委託料を減額した。

太田教育長　英検について，県から英検を受験すれば，補助金を支給するということ，また，対象者は中学３年ということで，担当職員は，昨年度は何名受け，今年度は何名受けるかということを各学校へ調査し，それぞれ級によって金額が違うこともあり，そのことも考慮し予算を計上した。英検は３回の受験があるが，県の通知後予算を計上したため，英検の補助対象の３年生は１０月の試験しか受けられない状態であった。周知等はしていたが，予定より受ける生徒が少なかった。来年度からは，もっと各学校に周知をしていきたいと思う。

田尻課長　ALTは任用が１年間であるため,全員帰省することを前提に予算を計上している。今年度は更新し継続されるALTが多かったため，予算を減額した。住吉中学校は,緊急の対応はなく,老朽化のため,再度新たにタンクを設ける工事である。

園田委員　入札できなかった場合，予算が残った分はどうなるのか。全部落ちるのか。次に使えるのか。次年度新たに予算を設定しないといけないのか。

田尻課長　繰越をした場合，次年度で今年度予算の執行が可能である。

園田委員　幼稚園の人材確保は，今後難しいのではないか。途中で退職された後は見つかっていない。長いスパンで人材確保を考えていかなければならないと思う。また，近藤委員からの質問もあったが，英語検定の人数が少ないのは，寂しい。テレビで放映されていた小中一貫校は，すべて，英語で授業をするという学校であった。特色を出して，全校でどう取り組んでいくか考えていかなければと思う。学校の先生方も英語の指導者は英検を受験しているが，他の先生方はどうなのか。

太田教育長　県のマニュアルとしては，県が１／３，市１／３，保護者１／３の負担で検定を行うことになっており，その中で宇土市は２／３を負担し，保護者の負担をなくしている。やる気がある子は受験する。無償であることの周知はあったと思う。英語での授業は増やさなければと思う。教育事務所でも英語の力をつけなければな

らないという話もでた。

園田委員　今は，スマホがあるため，日本語を話せば，英語は話さなくてもいいと思っている。自分で英語を話す人は少なくなっている。

◇◇◇